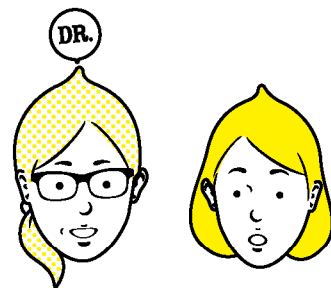


乳がん検診って何をするの？

1 問診 + 2 視触診 + 3 マンモグラフィ検査

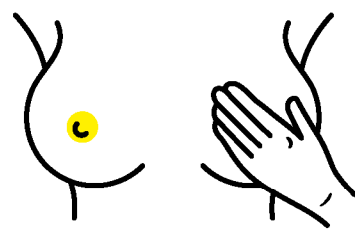
施設によっては、女性医師、女性技師さんが担当します。
安心して受診できる工夫がされています。

1



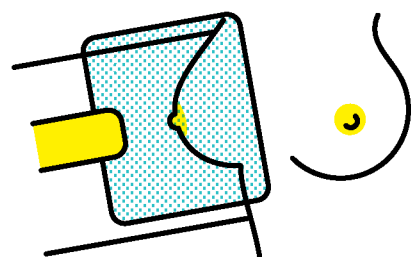
問診：初潮の年齢や妊娠・出産の経験、前回の月経などのほか、乳房に痛み・熱感・かゆみなどがあるか、これまでに乳房の病気をしたことがあるか、血縁の家族に乳がん患者はいるか、などを確認します。

2



視触診：医師が、左右の乳房に差がないか、胸のしこりやひきつれがないかなどをチェックします。左右の胸だけでなくわきの下も触ってリンパ腺の腫れなどを調べます。

3



マンモグラフィ検査：乳房専用のX線撮影のことをいいます。触診では診断できない小さなしこりや、しこりになる前の石灰化した微細な乳がんの発見に威力を発揮する検査法で、乳がんの早期発見に欠かすことのできないものです。ただし、乳腺が密な若い人の場合は、しこりを見つけることが難しいことがあります。また、X線撮影のため、妊娠している人には適しません。乳房を圧迫しますので、痛みを感じる方もいます。生理前の10日間を避けると痛みが少なくなります。

乳房を斜めに圧迫して撮影します。がんがしやすい乳房外側上部も、よく描出できる撮影方法です。

なぜ、「乳がん」の検診は効果的なのか

—乳がんについての素朴なギモンに答えます—

3つの理由